

関係各位

2020年11月27日

“公募”第49回全書芸展の開催

全日本書芸文化院（所在地：東京都千代田区、代表：目良丹崖）は、2020年12月10日（木）～21日（月）に東京・国立新美術館にて文化庁・東京都後援の『第49回全書芸展』を開催します。出品者は、全国からの応募による高校生以上（15歳から96歳）で〔公募〕511名・本院師範位以上の〔無鑑査〕435名・役員等による〔展覧会委員〕381名の3部門合計1,327名となります。天井5mの会場に半切から最大6×10尺の古典・古筆の臨書及び創作の書作品を展示します。

公募部門の優秀者には、文部科学大臣賞・東京都知事賞・本院創立70周年記念賞などを授与いたします。年末ご多用のところ恐縮に存じますが、ご来場賜りますようお願い申し上げます。

1 全書芸展開催の経緯

全書芸展は、本院が提唱する「純正書道」の成果を世に問う展覧会として、昭和47年（1972）に始まりました。出品者は、社中の偏重がなく、審査は厳正・公平に投票制で実施されております。審査員は、日展・毎日書道会・読売書法会・産経国際書会・独立書人団などの関係者と外部審査員で執り行っております。今回展は、本院創立70周年記念として「70周年記念賞」を設置いたしました。

2 開催概要

展覧会名：「公募」第49回全書芸展

会 期：2020年12月10日（木）－21日（月）

会 場：国立新美術館 2階展示室 2B・2C・2D

〒106-0032 東京都港区六本木7-22-2

開場時間：午前10時－午後6時（入館は午後5時30分）

*12月15日（火）休館／最終日は午後2時閉会（入館は午後1時30分）

入 場 料：無料

特別展示：第70回全国書道コンクール389点／委嘱役員小品23点／近世大家保存作品8点

交 通：東京メトロ乃木坂駅（美術館直結）・六本木駅／都営地下鉄大江戸線・六本木駅



3 全日本書芸文化院について

昭和25年（1950）創立。月刊競書雑誌『書宗』創刊。昭和47年（1972）、現在の『全書芸』に改題。初代会長は桑原 翠邦（元東宮御所 書道御進講）。古典・古筆に立脚した「純正書道」を標榜し、全国に500支部・15,000人の購読者様にご購読いただいているロングセラー月刊書道競書雑誌（一般・学生・ペン字）となっております。2月には全国書初大会、12月に全国書道コンクール・全書芸展等の書道イベントを開催。

4 問い合わせ先

全日本書芸文化院

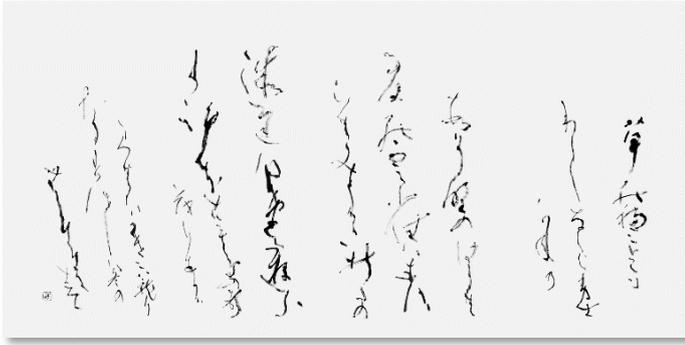
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-10-1

TEL 03-3294-3551 / FAX 03-3291-1238

E-mail info@z-shogei.co.jp / HP <https://www.z-shogei.co.jp/>



5 主な役員出品作品



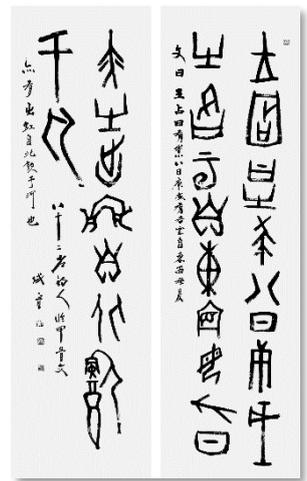
檜崎華祥「草の穂」

3×6尺



堀天鶴「禪」

6×10尺



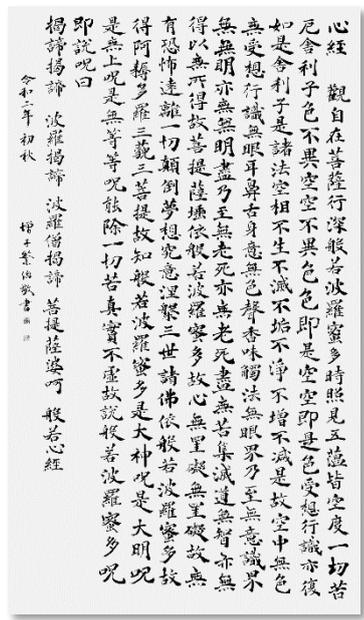
梶田越舟「甲骨文」

6×10尺



目良丹崖「浩然之氣」

6×6尺



増子総洋「般若心經」

6×10尺



吉田菁風「寒光一點竹間燈」

6×10尺



貝瀬芳雨「雲雨雨施」

2×8尺



片根荇雨「春景題畫」

6×10尺



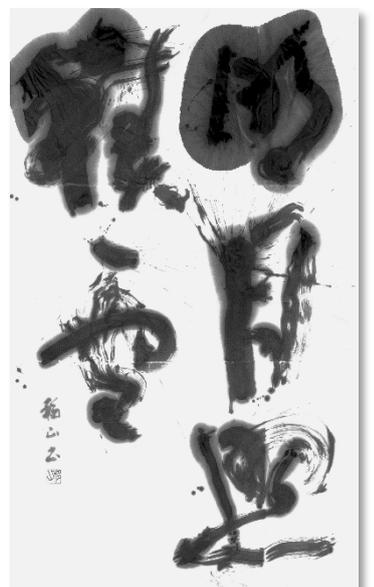
原田弘琴「白障子」

3×8尺



古谷春峰「翰墨游戲」

3×10尺



小泉移山「明月照積雪」

6×10尺